



目次

地域研究センター今年度の事業	1
西目屋村新総合計画 完成	2
中小企業経営支援調査事業始まる、第4回あおもり立志挑戦塾開始	3
青森公立大学 外国語会話講座、新任研究員紹介、 まちなかラボからのお知らせ、まちなかラボの紹介	4

地域研究センター今年度の事業

地域研究センターで今年度予定されている各種事業・研究についてご紹介いたします。

プロジェクト

I. 地域ハイブリッドコンテンツ配信手法の研究Ⅱ

佐井村・西目屋村のブロードバンド環境の構築を行い、配信すべきコンテンツに関して調査・研究し、実装を行う計画です。

II. 地域人材（人財）育成支援のための体制構築研究Ⅱ

青森県と協力して実施している『立志挑戦塾』を通し、青森県の人材（人財）を養成するための研究です。

III. 青森県における地域資源の商品開発に向けた調査研究

青森県東青地域県民局と協力し、東青地域を中心とした地域資源の商品開発、産学官民の連携を通して実現を目指す為の調査研究です。

IV. 自治体経営の成功要因に関する国内調査研究

国内自治体経営の戦略的課題を明らかにする為の現状把握と課題解明に向けた調査研究です。

V. 地域づくりイノベーションの公共リーダーシップ研究

～アジア（中国・韓国）・米・日の地域国際比較研究～

イノベティブな地域創りを支える公共リーダーシップの諸条件を、地域国際比較を通して研究します。

VI. 地域連携における異文化マネジメントの特性 ～組織文化の機能から視る～

高コンテキスト及び低コンテキストのコミュニケーションの状況下の連携において、組織文化がどのように機能し、異文化マネジメントに影響を与えているかを研究します。

VII. 青森県内の文系大学による人的資本形成効果の分析

青森県内の文系大学が、大学教育による人的資本の蓄積を通じて県経済の生産性に与える影響を研究します。

公開講座

I. 2011年度大学院公開セミナー

II. 中小企業の経営戦略を学び・考える

III. 人間の探求ー心理学と仏教からー

※公開講座の詳しい内容や日程は、
決まり次第ポスターやチラシ等
でお知らせいたします。



西目屋村新総合計画 完成

昨年度、西目屋村の今後10年間の計画である「総合計画」を当センターが調査・分析をしておりました。このほど詳細がまとまり、「西目屋村新総合計画」として村議会の承認を受けて完成しました。

この総合計画では、四季に連れ変化する風の色と調和する村民の生活をイメージし、副題を「西目屋色の、風の中で。」として、緑豊かな山村のイメージを大切にしたい構成となっています。

この総合計画の概要版では村の人々からもコメントをいただき、読み親しんでいただけるような構成にして全世帯に配布を行い、今後の村の将来像の参考にしていただいています。



総合計画とその概要版

地域研究センターが行った調査

- ①村民に対する行政サービスの満足度と将来的な重要度を捉える「村民アンケート」
- ②子どもたちの村に対するイメージや将来像を聞く「キッズコメント」
- ③本学の学生が村内の住民に直接聞き取り調査を行う「村民ヒアリング」

調査結果

●村民アンケート

村自慢の温泉施設などには満足しており、村民ヒアリングの結果と合わせると地域コミュニティの形成に大きく役立っていることが分かりました。

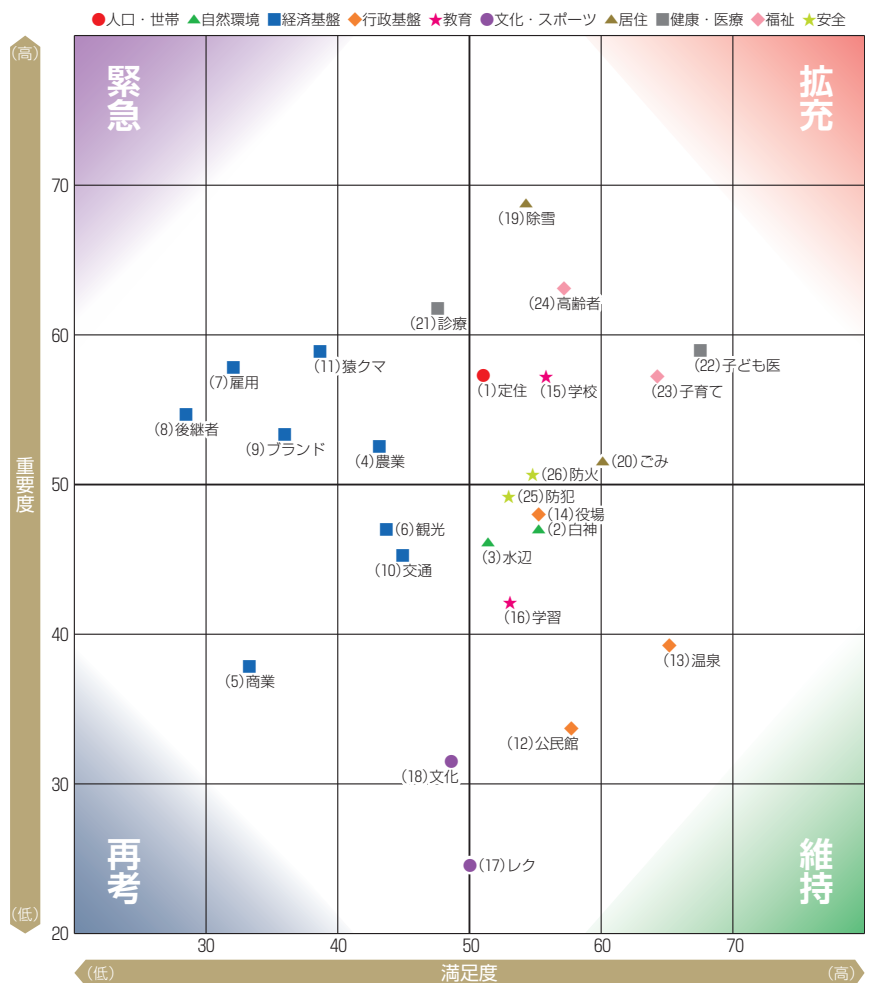
そのほかでは、子育て支援や高齢者支援、除雪サービスには満足しているものの、一層の質向上へのニーズが高いことが分かりました。特に除雪は高齢化を反映して、重労働に対する支援ニーズが高いということが分かりました。

また、行政による対策の緊急性が高い分野は経済基盤に関するものが多く、中でも自然が豊かな土地であるために農作物への猿やクマによる被害への重要度が高いという結果が出ました。

●キッズコメントと村民ヒアリング

村の西側に広がる白神山地が世界自然遺産に登録されたことにより誇りと愛着があふれており、自然と調和した西目屋村での生活に満足していることが分かりました。

【村民アンケートの総合評価】



中小企業経営支援調査事業始まる

当センターでは、今年度青森市からの緊急雇用創出事業として「中小企業経営支援調査」事業の受託をいたしました。

世界的な経済環境の悪化に加え、東日本大震災により青森市内の中小企業者の経営環境は不透明さを増しています。一方で、東北新幹線新青森駅開業により、都市圏との交流人口が増加することで新たなビジネスチャンスが期待されています。

そこで、この事業では市内の中小企業を訪問し、経営力向上チェックシートにご記入いただいて現況を調査するとともに、チェックシートを基に簡易企業診断を行って経営者の皆様に経営力の向上を図っていただくことを目的としています。

また、この事業では雇用された調査員にも指導を行い、企業戦略や経営課題の把握・解決能力の養成を図ります。現在企業訪問に向けて、雇用された調査員が中小企業診断士の指導を受け、日々企業経営の考え方を身につけています。

訪問企業は青森市役所との調整を行って決定しております。訪問ご希望の方はまちなカラボまでお問い合わせください。



研修中の調査員たち

第4回あおもり立志挑戦塾開始

青森県主催の地域人材づくりプログラム「あおもり立志挑戦塾」が今年度も開催され、5月28日～29日にかけて最初の活動が行われました。

昨年度までは日本総研会長の野田和夫氏を塾長として運営され、60人を超える塾生が卒塾しています。

今年度からは新たに県立宮城大学名誉教授の天明茂氏を塾長として迎え、19人の第4期塾生の育成にあたって頂いております。また、様々な方面でご活躍されているパワフルなゲストスピーカーを招き、内容豊かな講話を伺う機会が用意されています。

初回は野田和夫前塾長がゲストスピーカーとして招かれ、「人生も一大事業だ!」というテーマでお話を頂きました。講話の後のグループディスカッションを行うプログラムも健在で、「個人の志と地域の発展について」というテーマでグループディスカッションを行い、様々な意見や提案が活発に飛び交いました。

今年度の塾生も非常に積極的で、各自の知識経験を総動員させ、個性的なプレゼンテーションを行いました。

ファシリテーター役として当センター研究員も塾生のサポートに入っており、今後も残り5回行われる予定です。



青森公立大学 外国語会話講座

今年度も青森公立大学外国語会話講座が下記の日程で行われます。(①②⑤は募集終了)

コース名	日	時	場所	受講料 (テキスト代別)
①観光英語初級	6月18日(土)～7月30日(土)	全7回	青森公立大学	¥6,000
②観光英語中級	6月18日(土)～7月30日(土)	全7回	青森公立大学	¥6,000
③ビジネスイングリッシュ初級	10月 1, 15, 22, 29日(土)	全4回	青森公立大学	¥3,000
④キッズクラス	10月 1, 15, 22, 29日(土)	全4回	青森公立大学	¥3,000
⑤旅行中国語初心者クラス	7月9日(土), 7月16日(土)	全2回	アウガ6Fまちなカラボ	¥500



第1回観光英語講座の様子



申込・問合せ先

青森公立大学 地域連携センター

担当：赤坂

電話：017-764-1561 (大学院)

FAX：017-764-1564

※電話・FAXにてお申し込み下さい。

※定員になり次第締め切りと致します。

新任研究員紹介

初めまして。今年の4月から研究員として、地域研究センターで皆様と一緒に仕事させて頂いております。

これまでは国際物流関係を中心に客先及び中国に駐在し、物流・貿易実務の見直し・合理化・開拓拡大のお手伝い等に当たって参りました。

微力ではありますが、青森という地域において、何か発展できるお手伝いのできればと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



【新任研究員】
長岡 正次

まちなカラボからのお知らせ

青森公立大学 図書館返却ポストを設置

まちなカラボに青森公立大学図書館の返却ポストを設置致しました。図書ご利用の皆様の利便性が上がりましたので、お気軽にご活用下さい。

まちなカラボ日曜日閉室のご案内

諸事情により、6月より日曜日は閉室日とさせて頂くことになりました。アウガ全館休館日以外の月曜日から土曜日は変わらず通常通り開けております。ご不便おかけしますが、ご理解頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

多目的サテライト 青森公立大学まちなカラボ



まちなカラボは、本学の地域研究センター研究員が交代勤務しております。本学の教職員、学生とともに、地域社会に関する研究、各種プロジェクトを行う際のディスカッションの場、地域振興、産学官連携に関する相談窓口としてご利用下さい。

〒030-0801 青森市新町1-3-7
青森駅前再開発ビル(アウガ)6階

電話：017-718-7025 Fax：017-776-2082

E-mail：lab@bb.nebuta.ac.jp

http://www.nebuta.ac.jp/machinaka_lab/index.html

開設時間 13:00～21:00

(毎週日曜日、年末年始、アウガ全館休館日、5～8階公共施設休館日は、休業いたします。)